

個人投資家向け情報提供

1. 評価対象企業（30 社）

INPEX、Heartseed、味の素、三越伊勢丹ホールディングス、旭化成、三井化学、野村総合研究所、Finatext ホールディングス、中外製薬、コスモエネルギーホールディングス、日本製鉄、UACJ、小松製作所、荏原製作所、セガサミーホールディングス、ミネベアミツミ、TDK、いすゞ自動車、良品計画、BuySell Technologies、朝日インテック、アシックス、伊藤忠商事、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三井住友フィナンシャルグループ、東京海上ホールディングス、三菱地所、東日本旅客鉄道、九州旅客鉄道、ソフトバンク

（証券コード協議会銘柄コード順）

2. 評価方法等

（1） 評価対象企業の選定

優良企業選定の評価対象企業は、本年度の各業種（18 業種）および新興市場銘柄についての評価結果において、それぞれ上位 1 割（評価対象企業の数で 10 で割った数（小数点第 1 位を切上げ））に入った企業のうち、2025 年 7 月から 2026 年 6 月までの間において、個人投資家向け会社説明会を開催した 30 社とした。

（2） 評価分野の構成

評価分野	本文中の略称	評価 項目（注 1）数	配点
①個人投資家向け会社説明会の開催等	個人投資家向け会社説明会	4	16
②ウェブサイトにおける開示等	ウェブサイト	4	32
③各種説明会資料	説明会資料	4	32
④事業報告書等（注 2）の内容	事業報告書等	3	20
		15	100

（注 1） 具体的な評価項目の内容および配点は後掲。

（注 2） 直近事業年度について、個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について、わかりやすい解説を行っている IR 関連資料（事業報告書、株主通信、アニュアルレポート、統合報告書等）の中で、会社側から提示されたいずれか 1 種類。

（3） 評価方法

評価項目（15 項目）のうち、**個人投資家向け会社説明会**（3(2)①）の 3 項目、**ウェブサイト**（3(2)②）の中の 1 項目および**説明会資料**（3(2)③）の中の 1 項目の評価については、各評価対象企業にアンケート調査を実施し、その回答結果を基に評点を付した。残りの 10 項目の評価は、ディスクロージャー研究会「個人投資家向け情報提供専門部会」の委員（14 名）が行い、最終評価は両者の評点を合算して行った。

3. 評価結果

（1） 総括（「個人投資家向け情報提供における評価比較総括表」は後掲）

本年度の評価対象企業は、上記 2.（1）のとおり選定しており、昨年度から相当程度入れ替わっている。また、

項目数・内容、配点を昨年度から見直している。このため、昨年度（評価対象企業 30 社）と同列には比較できないが、本年度の総合評価平均点は 79.1 点（昨年度同点）となった。その内訳は、評価点 80 点台が 19 社（昨年度 16 社）、70 点台が 8 社（昨年度 11 社）、70 点未満 3 社（昨年度同数）となった。

4 つの評価分野の平均得点率（評価対象企業の平均点／配点〈以下省略〉）を見ると、**個人投資家向け会社説明会**が 74%（昨年度同率）、**ウェブサイト**が 76%（昨年度との比較不可）、**説明会資料**が 82%（昨年度との比較不可）、**事業報告書等**が 83%（昨年度 84%）となった。

(2) 評価対象企業に対するアンケート結果を基にした評価

- ① **個人投資家向け会社説明会**については、昨年 7 月から本年 6 月までの 1 年間の開催回数は、4 回以上が 15 社、2～3 回が 7 社、1 回が 8 社であった。リアル（対面）形式とオンライン形式の両方で行っている企業は 20 社（67%）で、その割合は昨年度（50%）を大きく上回った。また、経営トップが説明を行っている企業は 19 社（63%）で、その割合は昨年度（67%）をやや下回った。
- ② **ウェブサイト**については、IR 情報のメール配信サービスまたは SNS 配信サービスなどの付加サービス機能を提供している企業は、23 社（77%）であった。
- ③ **説明会資料**について、各種説明会（個人投資家向け会社説明会を除く）の内容はウェブサイトに掲載されて誰でも動画で視聴できる企業は 28 社（93%）で、その割合は昨年度（87%）を上回った。

(3) 専門部会委員による評価

専門部会委員は、ウェブサイト等における開示内容が一般投資家に理解できるように具体的にわかりやすく説明、記載されているか、また、利用しやすいように工夫がされているかといった観点から、10 項目について評価を実施した。

【個人投資家向け会社説明会】

- (a) 「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していますか」（平均得点率 74%〔昨年度 72%〕）

【ウェブサイト】

- (b) 「IR に関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して充実した内容であり、利用しやすく、かつ、わかりやすく工夫されていますか。」（平均得点率 77%〔昨年度 85%〕）
- (c) 「事業内容（主力商品、主力サービス等）が具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。また、不祥事等があった際に、適切な情報開示や具体的な対応策を掲載していますか。」（平均得点率 82%〔昨年度同率〕）
- (d) 「資本コストを意識した経営の実現に向けた対応を開示し、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。」（平均得点率 68%〔昨年度 69%〕）

【説明会資料】

- (e) 「業績の動きが、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 84%〔昨年度 83%〕）
- (f) 「経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題等を踏まえて、具体的に、かつ、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 85%〔昨年度 83%〕）
- (g) 「ESG（人的資本、人権を含む）、社外取締役との対話について、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。（平均得点率 75%〔昨年度 77%〕）

【事業報告書等】

- (h) 「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ、理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか」(平均得点率 86%〔昨年度同率〕)
- (i) 「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESG や人的資本に関する情報や取組みも含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていますか。」(平均得点率 81%〔昨年度 82%〕)
- (j) 「業績の動きがわかりやすく(読み手が理解しやすいように)説明されていますか」(平均得点率 84%〔昨年度 87%〕)

(4) 上位3企業の評価概要

第1位 味の素（ディスクロージャー優良企業〔5回目〕、総合評価点 89.0点）

- ① 同社は、ウェブサイトが第1位(得点率(以下省略) 87%)、説明会資料が同得点第1位(88%)、個人投資家向け会社説明会が第2位(94%)、事業報告書等(ASV レポート(統合報告書))が第7位(89%)となった。
- ② 個人投資家向け会社説明会においては、評価対象企業に対するアンケート項目(全3項目)全てが満点評価となった。また、「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく(一般投資家に理解できるように)、かつ充実していること」は第5位(90%)となった。これに関連して、社長や社員による分かりやすく充実した説明に加え、事業概要や成長戦略、事業構成やビジョンについて要点を絞って説明しており、会社の特徴や強みを理解しやすい点を評価する声が寄せられた。また、具体的な事例やブランド名、製品例を交えながら説明するとともに、図表を中心とした資料構成により、事業内容や収益性、成長戦略の全体像をイメージしやすい点を評価する声があった。
- ③ ウェブサイトにおいては、「事業内容(主力商品、主力サービス等)が具体的にわかりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていること。また、不祥事等があった際に、適切な情報開示や具体的な対応策を掲載していること」が最も高い評価となった。これに関連して、食品事業やアミノサイエンス事業、バイオ&ファインケミカル事業、ASV 経営について整理された説明が行われており、一般投資家が事業の全体像や特徴を理解しやすい点を評価する声が寄せられた。また、「IR に関するウェブサイトは、探しやすい・画面構成等にも配慮して充実した内容であり、利用しやすく、かつ、わかりやすく工夫されていること」および「IR 情報のメール配信サービスまたは SNS 配信サービスなどの付加サービス機能を提供していること(評価対象企業に対するアンケート項目)」は共に同得点第1位となった。これらに関連して、各項目が分かりやすく整理・リンクされているほか、見出しと詳細項目のバランスが良く、必要な資料や説明会情報を探しやすい点を評価する声が寄せられた。イラストや写真、アイキャッチを活用した見やすいレイアウトに加え、「3分読解 早わかり味の素グループ」など初心者向けコンテンツを通じて、経営戦略・事業紹介・財務情報を分かりやすく提供している点を評価する声があった。
- ④ 説明会資料においては、「各種説明会(個人投資家向け会社説明会を除く)の内容はウェブサイトに掲載されて誰でも動画で視聴できること(評価対象企業に対するアンケート項目)」が同得点第1位(満点)となった。また、「経営目標・経営戦略が、会社の強み(業界シェアや他社との差別化等を含む)や課題等を踏まえて、具体的に、かつ、わかりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていること」同得点第3位となった。これに関連して、食品事業・アミノサイエンス事業における強みを軸に、事業ポートフォリオ改革や ROIC 経営の考え方、中長期目標、重点施策、投資計画まで体系的に説明している点を評価する声が寄せられた。このほか、「ESG(人的資本、人権を含む)、社外取締役との対話について、具体的にわかりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていること」も同得点第3位となった。これに関連して、「人的資本」や「サステナビリティ」において ESG 情報インデックスを掲載するほか、人的資本、人権、環境に関する取り組みや KPI を分かりやすく整理し、企業価値とのつながりまで説明している点を評価する声が寄せられた。また、社外取締役へのインタビュー資料やガバナンス対談を通じて、各社外取締役の考え方や監督機能への理解を深める機会を提供している点を評価する声があった。
- ⑤ 事業報告書等においては、「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていること」が同得点第1位となった。これに関連して、ASV レポート(統合報告書)は、コーポレートカラーを効果的に活用した見やすい構成となってお

り、デザイン性にも優れている点を評価する声が寄せられた。図表、イラスト、写真、グラフを効果的に活用するとともに、図と文章の量や文字サイズ、余白のバランスが良く、視認性や読みやすさに優れている点を評価する声があった。また、「業績の動きがわかりやすく（読み手が理解しやすいように）説明されていること」は同得点第7位となった。これに関連して、主力事業別の増減要因や地域別動向、セグメントごとの収益変動要因が分析されており、業績の動きを理解しやすい点を評価する声が寄せられた。なお、原材料価格や為替変動が業績に与える影響について、一般投資家にも直感的に理解できる説明の充実を望む声もあった。

第2位 ソフトバンク（ディスクロージャー優良企業〔2回連続2回目〕、総合評価点 88.5点）

- ① 同社は、個人投資家向け会社説明会（95%）、事業報告書等（「統合報告書 2025」）（92%）が第1位、ウェブサイトが同得点第2位（86%）、説明会資料が同得点第11位（85%）となった。
- ② 個人投資家向け会社説明会においては、評価対象企業に対するアンケート項目（全3項目）全てが満点評価となった。また、「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していること」が同得点第2位（92%）となり、この分野で第1位となった。これに関連して、個人投資家向け説明会ページにおいて、動画、説明会要旨、Q&A を掲載するとともに、図表や説得力のある数値を活用し、子会社・関連会社を含めたグループ全体像を分かりやすく整理している点を評価する声が寄せられた。また、個人投資家向け説明会を開催し、投資家との接点確保に非常に積極的であるとの声があった。
- ③ ウェブサイトにおいては、「IR 情報のメール配信サービスまたは SNS 配信サービスなどの付加サービス機能を提供していること（評価対象企業に対するアンケート項目）」が同得点第1位（満点）となった。また、「事業内容（主力商品、主力サービス等）が具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていること。また、不祥事等があった際に、適切な情報開示や具体的な対応策を掲載していること」が同得点第3位となった。これに関連して、主なグループ会社の紹介に加え、事業内容や事業構成比率、顧客層、収益源などを図表や具体例を用いて分かりやすく説明している点を評価する声が寄せられた。「IR に関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して充実した内容であり、利用しやすく、かつ、わかりやすく工夫されていること」が同得点第4位となった。これに関連して、IR トップページ、IR ライブラリー、FAQ、用語集、個人投資家向けページなどが分かりやすく整理されており、資料や情報を探しやすく利用しやすい点を評価する声があった。
- ④ 説明会資料においては、「各種説明会（個人投資家向け会社説明会を除く）の内容はウェブサイトに掲載されて誰でも動画で視聴できること（評価対象企業に対するアンケート項目）」が同得点第1位（満点）となった。また、「経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題等を踏まえて、具体的に、かつ、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていること」は同得点第8位であった。これに関連して、通信事業の安定基盤に加え、法人、メディア・EC、金融、AI などの成長領域への展開について、各事業の役割や成長ドライバー、差別化要因を整理しながら説明している点を評価する声が寄せられた。一方、資料のみでは理解しにくい部分や抽象的な表現も見られることから、より分かりやすい説明を望む声があった。
- ⑤ 事業報告書等においては、「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESG や人的資本に関する情報や取組みも含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていること」が同得点第1位となった。これに関連して、通信事業の安定基盤と成長領域、サステナビリティや人的資本を含む非財務施策とのつながりを明確に示し、一般投資家にも理解しやすい構成となっている点を評価する声が寄せられた。また、「業績の動きがわかりやすく（読み手が理解しやすいように）説明されていること」も同得点第1位となった。これに関連して、定量情報と定性情報のバランスが取れているほか、事業別の増減要因や非通信分野・投資先の寄与についても平易に説明しており、業績の動きを理解しやすい点を評価する声があった。

第3位 三菱UFJフィナンシャル・グループ

（ディスクロージャー優良企業〔2回連続6回目〕、総合評価点 87.8点）

- ① 同社は、事業報告書等（MUFG Report 2026（統合報告書））が第3位（91%）、説明会資料が同得点第3

位（88%）、個人投資家向け会社説明会が第4位（93%）、ウェブサイトが同得点第5位（84%）となった。

- ② **個人投資家向け会社説明会**においては、評価対象企業に対するアンケート項目（全3項目）全てが満点評価となった。また、「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していること」は第8位（88%）であった。これに関連して、事業概要や企業の強み、成長戦略を説明するとともに、具体的なデータや図表を豊富に用い、ビジネスモデルやサービス内容を顧客事例も交えながら解説している点を評価する声が寄せられた。また、対談形式の動画や個人投資家向けセミナーの実施、説明会資料の公開など、継続的かつ多面的な情報発信を行っている点を評価する声があった。一方、情報量は充実しているものの理解のハードルがやや高く、内容の整理や構成の工夫を求める声があった。
- ③ **ウェブサイト**においては、「IR情報のメール配信サービスまたはSNS配信サービスなどの付加サービス機能を提供していること（評価対象企業に対するアンケート項目）」が同得点第1位（満点）となった。また、「IRに関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して充実した内容であり、利用しやすく、かつ、わかりやすく工夫されていること」は同得点第4位（86%）となった。これに関連して、各種コンテンツが整理され、シンプルで見やすい画面構成や大きなアイコンの採用により、必要な情報を探しやすい点を評価する声が寄せられた。「資本コストを意識した経営の実現に向けた対応を開示し、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていること」は同得点第8位（79%）であった。これらに関連して、統合報告書や経営戦略ページにおいて、資本政策、株主還元、事業ポートフォリオ戦略、ROE目標などを示し、企業価値向上に向けた取組みを図表やデータを用いて分かりやすく説明している点を評価する声があった。
- ④ **説明会資料**においては、「業績の動きが、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていること」が最も高い評価（90%）となった。これに関連して、IRサイトの財務情報や決算説明資料において、長期間にわたる業績データを蓄積・開示するとともに、豊富なデータやグラフを活用し、業績推移を分かりやすく説明している点を評価する声が寄せられた。また、「各種説明会（個人投資家向け会社説明会を除く）の内容はウェブサイトに掲載されて誰でも動画で視聴できること」が同得点第1位（満点）となった。
- ⑤ **事業報告書等**においては、「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていること」が同得点第1位（96%）となった。これに関連して、写真や図表、グラフを効果的に活用するとともに、文字の大きさや情報量のバランス、メリハリのある色使いにも配慮されており、視認性が高く理解しやすい構成となっている点を評価する声が寄せられた。その他に文字数やページ数を抑えながら要点を分かりやすく整理するなど、読みやすさの向上に向けた改善が継続的に図られている点を評価する声があった。また、「経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESGや人的資本に関する情報や取組みも含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていること」も同得点第1位（91%）となった。これらに関連して、「企業価値向上のための戦略」の中で、成長戦略、ESG、人的資本、資本政策を関連付けて体系的に説明し、企業価値向上に向けた方向性を分かりやすく示している点を評価する声が寄せられた。また、ESGや人的資本の取組みを定量的に示すとともに、ROE向上策や各事業の課題・方向性を具体的に説明している点を評価する声があった。一方、重要論点を簡潔に整理した要約の充実を望む声もあった。

上記の味の素、ソフトバンク、三菱UFJフィナンシャル・グループの3社の努力と姿勢は、ディスクリージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、これら3社を本年度の個人投資家向け情報提供における優良企業として選定した。

以 上

2026年度 個人投資家向け情報提供における評価比較総括表

(単位:点)

順位	評価項目 評価対象企業	総合評価 (100点)	1. 個人投資家向け会社説明会 の開催等		2. ウェブサイトにおける開示等		3. 各種説明会資料（個人投資家 向け会社説明会資料および その他掲載資料を含む）に おける開示等		3. 事業報告書等の内容	
			開催回数、経営トップによる 説明の有無等4項目 (配点 16点)		個人投資家向けサイトの構成、 事業内容、資本コストを記載した 経営の説明等4項目 (配点 32点)		業績の動き、経営目標・経営戦略、 ESG等の説明資料、および各種 説明会動向の掲載等4項目 (配点 32点)		経営方針、中・長期経営ビジョン や業績動向の説明の分かりやす さ等3項目 (配点 20点)	
			評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1	2802 味の素	89.0	15.0	2	27.9	1	28.3	1	17.8	7
2	9434 ソフトバンク	88.5	15.2	1	27.6	2	27.3	11	18.4	1
3	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	87.8	14.8	4	26.8	5	28.1	3	18.1	3
	評価対象企業(30社) 評価平均点	79.14	11.91		24.39		26.19		16.65	

2026年度の具体的評価項目および配点（個人投資家向け情報提供）

【評価期間：2025年7月～2026年6月】

1. 個人投資家向け会社説明会の開催等（16点）	配点
(1)過去1年間（前年7月から本年6月までの間）に個人投資家向け会社説明会を何回開催していますか。 [A.4回以上：3点、B.2～3回：2点、C.1回：1点]	3
(2)個人投資家向け会社説明会は、リアル（対面）形式と、オンライン形式の両方で行っていますか。 [A.両方で行った：1点、B.リアル（対面）形式のみ：0点、オンライン形式のみ：0点]	1
(3)個人投資家向け会社説明会は、経営トップが説明を行いましたか。 [A.経営トップが行った：2点、B.経営トップ以外が行った：1点]	2
(4)ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していますか。 【個人投資家向け会社説明会に限定して評価】 [1点～10点の整数で評価。掲載なし：0点]	10
2. ウェブサイト（HTML上の記載に限る）における開示等（32点）	配点
(1)IRに関するウェブサイトは、個人投資家向けサイト含め、探しやすさ・画面構成等にも配慮して充実した内容であり、利用しやすく、かつ、わかりやすく工夫されていますか。 [1点～12点の整数で評価]	12
(2)IR情報のメール配信サービスまたはSNS配信サービスなどの付加サービス機能を提供していますか。 [A.配信サービスあり：2点、B.配信サービスなし：0点]	2
(3)事業内容（主力商品、主力サービス等）が具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。また、不祥事等があった際に、適切な情報開示や具体的な対応策を掲載していますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(4)資本コストを意識した経営の実現に向けた対応を開示し、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～8点の整数で評価]	8
3. 各種説明会資料（個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む）における開示等（32点）	配点
(1)業績の動きが、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(2)経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題等を踏まえて、具体的に、かつ、わかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(3)ESG（人的資本、人権を含む）、社外取締役との対話について、具体的にわかりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(4)各種説明会（個人投資家向け会社説明会を除く）の内容はウェブサイトに掲載されて誰でも動画で視聴できますか。 [A.できる：2点、B.できない：0点]	2
4. 事業報告書等の内容（注）（20点）	配点
(1)全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか。 [1点～5点の整数で評価]	5
(2)経営方針、中・長期経営ビジョンが、ESGや人的資本に関する情報や取組みも含めて、わかりやすく、かつ簡潔に説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(3)業績の動きがわかりやすく（読み手が理解しやすいように）説明されていますか。 [1点～5点の整数で評価]	5

網掛けの項目は、評価対象企業へのアンケート結果をもとに評点

（注）直近事業年度について、個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について、わかりやすい解説を行っているIR関連資料（事業報告書、株主通信、アニュアルレポート、統合報告書等）の中で、会社側から提供のあったいずれか一種類を評価対象とする。

個人投資家向け情報提供専門部会委員

部 会 長	林 健太郎	野村證券
部会長代理	宇田川 克己	いちよし証券
	岩崎 利昭	水戸証券
	大坂 隼矢	野村證券
	菅 あずさ	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
	小松崎 直樹	丸三証券
	澤田 遼太郎	東海東京インテリジェンス・ラボ
	柴田 光浩	大和証券
	嶋田 和昭	岩井コスモ証券
	鈴木 英之	SBI 証券
	高取 千誉	大和証券
	高山 裕介	SMBC 日興証券
	二宮 雅之	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
	山本 信一	岡三証券